

平成25年度

主要施策の成果

平成26年10月

大田区

平成25年度 主要施策の成果

平成25年度の主な事業（おおた未来プラン10年の主な事業）と決算額は、次のとおりです。
 なお、おおた未来プラン10年の主な事業のうち、財政負担を伴う事業のみを掲載しています。

事業名	内容	決算額（円）
基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち		
個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします		
施策1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくります		
1	妊婦健康診査の充実 妊婦の健康診査にかかる費用の一部を助成（一人当たり14回）しました。 また、妊婦超音波検査（一人当たり1回）及び里帰り等における健康診査費用の一部を助成しました。	442,967,151
2	すこやか赤ちゃん訪問事業の推進 健やかな子育てを支援するため、出生数5,826人のうち、5,373人の乳児家庭を、生後4か月頃までに訪問しました（訪問率92.2%）。 子育ての孤立化を防ぐために、様々な不安や悩みを聞き、必要に応じて地域の子育てグループ、養育支援家庭訪問事業、児童館、家事・育児支援サービス等の社会資源について情報提供を行いました。支援が必要な家庭に対しては、適切なサービスに結びつけるよう同行訪問等の支援を行いました。	28,218,364
3	両親学級（一日制）の充実 育児に関する保健知識の習得や、両親で子育てをするという意識啓発の一環として、父親の育児参加を促すことを目的に土日を中心に夫婦参加型の両親学級を開催（一日制：土日開催29回・平日開催1回・受講者1,525人、三日制：平日開催38回・参加者延べ862人）しました。 区報や母子手帳交付時のチラシ配布により、電子申請を周知し、申請の利便性を図るとともに、参加希望者名簿の一元管理化により落選者の減少に努めました。	6,577,306
施策1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくります		
1	親の子育て力向上支援 親同士が相互に学び合うグループを支援する人材（ファシリテーター）を養成するための講座を開催し、12人の修了者を輩出しました。 また、子育ての戸惑いや悩み、関心のあることをグループで話し合いながら、自分に合った子育てを学んでいくグループワークを8コース実施（1コースは週1回を6週間連続、参加者77人）しました。	1,419,182
2	子育て応援サイトの運営 両親・育児学級や子育て講座等、妊娠期から乳幼児向けの情報や、子ども科学教室等小中学生以上向けの情報等、成長にあった子育て情報やイベント情報などを、子育て応援サイトで随時提供しました。アクセス件数は564,287件でした（前年度比15,586件増）。 区民委員による「おおた子育てほっとカフェ」については、編集委員会を開催（12回）し、委員の取材記事の企画、編集を行い、子育て中、又は子育て経験者の目線を取り入れた記事を提供しました。 また、これまで冊子として配布していた「子育てハンドブック」、「サポートブックかけはし」をサイトに掲載し、インターネットからも閲覧できるようにしました。	7,303,959
3	家庭福祉員制度の充実 自宅で2歳未満の乳児を対象に保育を実施する家庭福祉員（保育ママ）の新規認定を行い、家庭福祉員数は47人（前年度比5人増）となりました。 また、古川グループ保育室、大森西グループ保育室の開設などにより、保育定数を124人（前年度比13人増）に拡大しました。 家庭福祉員に、運営費等を助成しました。	151,410,745

事業名		内容	決算額（円）
4	認証保育所支援	低年齢児保育や長時間保育等のニーズによりいっそう応えるため、新たに4か所の認証保育所に開設・整備助成を行いました。新規開設及び開所済み施設に定員拡大を働きかけた結果、総定員数が1,645人（前年度比141人増）となりました。	1,745,888,227
5	区立保育園の改築・改修の推進	池上第二保育園について、耐震補強等改修工事が竣工しました。矢口第二保育園については、仮園舎へ移転し、耐震補強等改修工事に着手しました。田園調布保育園については改修工事の、六郷保育園については改築工事の実施設計を行いました。	299,732,327
施策1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます			
1	基礎学力の定着	学習カルテを活用し、全小中学校の全児童・生徒と学習カウンセリングを実施しました。 児童・生徒が学力を確実に身に付けられるよう、算数・数学のステップ学習プリント、習熟度別プリントを全小中学校に配布し、取り組みました。 全小中学校で放課後及び土曜補習教室を開催しました。土曜補習教室では算数・数学・英語を各校6回以上実施（参加者：小学生延べ19,389人、中学生延べ6,852人）しました。	96,097,756
2	不登校施策の充実	ケース会議等、関係者・関係機関と連携し、対象児童・生徒への支援を検討するなど、組織的な対応を充実させました。 全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、相談支援を行いました。 引きこもりがちの生徒宅や中学校の相談学級へメンタルフレンドを派遣（延べ733回）し、保護者・生徒に対する支援の充実を図りました。 大森西特別出張所の3階部分に適応指導教室を新設することを決定しました。	12,324,380
3	日本語指導教室の充実	小学生（75人）、中学生（28人）に、1人60時間の日本語初期指導を実施しました。蒲田小学校、蒲田中学校において、教科学習等を充実させるために必要な日本語指導を実施（小学生27人、中学生42人）しました。	22,540,950
4	学校施設の改築	志茂田小学校・志茂田中学校の改築について基本設計が完了しました。 東六郷小学校の改築について実施設計が完了しました。 嶺町小学校の改築については既存校舎の解体工事が完了し、校舎改築第Ⅱ期工事に着手しました。	415,165,785
5	学校施設の緑化の推進	地球にやさしいまちづくりと子どもたちの環境教育の充実を図るため、多摩川小学校の校庭芝生化及び西六郷小学校・馬込小学校の屋上緑化を行いました。	106,345,295
6	学校運営システムの構築	平成23年度に構築した学校運営システム（教育委員会事務局、区立小中学校等94拠点を結ぶネットワーク）の運営・保守を実施しました。 事務事業改善推進委員会作業部会（3回）と保健機能検討会（5回）を開催し、校務支援システムの活用の検討及び保健管理機能の設定内容の検討を行いました。 当システムを活用して、今年度から全校において通知表の作成が実施され、他の機能についても活用率が上がったことにより、学校業務の効率化につながっています。	290,565,173
施策1-1-4 のびのびと成長する子どもを見守ります			
1	学童保育及びフレンドリーおおた事業の充実	おおたっ子ひろば（6か所）、フレンドリーおおた（9か所）を運営しました。 4月1日時点での学童保育登録者数はおおたっ子ひろばが357人（年間延べ利用者数66,298人、一般利用における年間延べ利用者数66,624人）、フレンドリーおおたは398人（年間延べ利用者数69,319人）でした。	1,021,473,123

事業名	内容	決算額（円）	
個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります			
施策1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくります			
1	健康づくりの推進	<p>区民の健康づくり活動を相互に結びつけることを目的とした健康づくりネットワーク（27団体登録中）を継続し、グループ交流会を実施しました。ネットワークグループと共同で、自主的な健康づくり支援として「私の健康づくり大・作・戦！おた健康プラン実践編パンフレット別冊 健康ウォーキングマップ」羽田編、雑色から武蔵新田編、田園調布から多摩川台公園編を作成しました。作成したパンフレットは、女性の健康づくり講演会などで配布しました。</p> <p>女性特有のがん検診の受診率を上げるため、乳がん検診での検診車の導入に加え子宮頸がん検診でも検診車を導入し、土日の受診や二つの検診の同日受診ができるようにしました。また、子宮頸がん検診の実施期間を1か月延長して実施しました（乳がん検診受診者数12,230人（前年度比662人増）、子宮頸がん検診受診者数18,585人（前年度比198人増））。</p>	1,639,033,171
2	食育の推進	<p>食育検討会を開催（4回）して、食育に関する取組みの実施状況を把握し、「おた健康プラン（第二次）」に反映しました。</p> <p>食の大切さを啓発するため、食育フェアを開催（1回）し、学校・保健所等における食育活動を紹介するパネル展示やレシピパンフレットの配布等を行いました。</p> <p>地域活動栄養士会等を対象に「変化する女性の身体を知り食生活を考える」をテーマに講習会を開催（1回、参加者30人）したほか、東京誠心調理師専門学校と共催で親子食育教室「レストランシェフキッズ」を開催（1回、参加者27組54人）しました。</p>	477,055
3	地域医療連携の推進	<p>区民が安心して質の高い医療が受けられるよう、区内医療関係者の主体的な活動を支援する形で、連携を推進しました。具体的には、入院医療協議会を始めとする各種会議体への参加、区民公開講座の開催（14回、参加者延べ1,630人）等を実施しました。</p> <p>また、在宅医療連携調整窓口の設置に対する補助や、厳しい医療環境にある小児救急を支援する事業への補助を行い、赤ちゃんからお年寄りまで適切な医療が区内で受けられる環境づくりを支援しました。</p> <p>災害医療に関しては、発災後72時間以内の傷病者を救護する緊急医療救護所の設置について、具体的な位置の設定を行いました。</p>	50,243,186
4	食の安全確保	<p>より高度な衛生管理手法を新たに導入した大規模給食施設等が4施設増加し、29施設となりました。</p> <p>ホームページによる健康危害情報の提供として、コンテンツを目的別に分類し、小見出しと簡易な説明を追加することで、より検索しやすい環境を整えました。</p> <p>大田区保健所情報メールの周知に努め、メールを受信する登録団体を、26団体から37団体に増やし、食の安全に関する健康危害情報を発信（14回）しました。</p>	20,844,456
5	健康危機管理体制の整備・充実	<p>大田区新型インフルエンザ等対策行動計画の改定作業を進めました。</p> <p>新型インフルエンザ等の感染症が発生した際の対応手順を明確にし、実践に即した訓練を実施できるように、「新型インフルエンザ等感染症発生時大田区保健所対応マニュアル」を整備しました。</p> <p>備蓄物資の在庫状況、管理状況について調査・点検を行いました。</p>	70,813

事業名		内容	決算額（円）
施策1-2-2 ユニバーサルデザインのまちをめざします			
1	ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進	<p>おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議（2回）、UD推進部会（3回）、UD普及部会（8回）を開催し、区民等とユニバーサルデザインのまちづくりの普及、推進等について検討し、「心のバリアフリーハンドブック」を作成しました。</p> <p>おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー（UDパートナー）登録制度により、区民45人を登録しました。UDパートナーにより、ユニバーサルデザインの視点で蘇峰公園など11か所の公園・施設等を点検しました。</p> <p>東京都のユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業のモデル地区に指定されている山王、馬込、池上地区において、ユニバーサルデザイン教育の推進等の総合学習支援モデル事業を小学校10校で実施しました。</p>	3,991,670
2	誰にもわかりやすいサイン整備	<p>区役所本庁舎の地下駐車場壁面（15か所）にアイドリングストップサインを設置したほか、庁舎正面入口階段下に、南北のスロープを案内するサインを設置しました。</p> <p>六郷地域力推進センターの新築工事に伴い、道路境界から主出入口まで及び主出入口から受付カウンターまで、誘導ブロックを設置しました。また、総合案内、各階案内、窓口サイン及び室名サインは、外国語を併記しました。</p> <p>このほか、必要に応じて観光案内サイン（12基）や文化財標識版（5基）の補修・張替を行いました。</p> <p>「大田区サイン基本計画」に掲げる事業について、平成24年度中の取り組み実績をとりまとめ、ホームページ等で公表しました。</p>	1,345,155
施策1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります			
1	（仮称）障がい者総合サポートセンターの設置	<p>近隣説明会を実施した上で、工事に着手しました。</p> <p>平成24年度のサポートセンター検討委員会の報告を踏まえ、サポートセンターでの実施事業は障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスと位置付けました。また、運営方式については区直営を基本として、一部業務委託としました。</p> <p>大田区自立支援協議会との連携として、主に同協議会の地域資源評価開発部会において、サポートセンターで実施する講演会等のイベントに、障がい者や地域の人たちが参画していく道筋を検討しました。</p>	544,357,728
2	就労支援の充実	<p>障がい者の一般就労を促進するため就労相談を実施し、相談件数は7,901件（うち新規相談212件）でした。前年度同様、精神・発達障がいの相談グループを試行しました（利用者数延べ153人）。障がい者の就労促進を行い、73人が新規就労しました（障がい者就労支援センター21人、特別支援学校新卒36人、通所施設16人）。</p> <p>一般企業及び区役所で職場体験実習を実施しました（参加者延べ182人）。</p> <p>定着就労者507人について、会社訪問、就業生活相談、仲間との余暇の場の提供等の就労定着支援を行いました。</p> <p>大田区自立支援協議会精神障がい者の就労支援部会が主催して、精神障がい者を対象とした一般企業への職場体験実習を実施（7企業へ19人が参加）しました。</p>	8,961,587
3	地域生活移行支援（グループホーム等）の充実	<p>親なき後の障がい者等の自立をサポートするため、グループホーム・ケアホームの整備支援を行い、2施設が開設しました。</p> <p>つばさホーム前の浦の緊急一時保護事業の利用者に対して特別介護人を派遣することで、利便性の向上を図りました。</p> <p>入院している精神障がい者が退院後安定した地域生活を送ることができるよう、入院中から退院準備に向けての支援や、退院後の治療中断防止等の支援を行う地域生活移行支援コーディネーター（1人）を、前年度に引き続き配置し、30人が利用しました。</p>	6,600,000

事業名		内容	決算額（円）
4	ふれあい広場事業の充実	<p>10月に「しょうがい者の日のつどい」を大田区総合体育館にて開催（参加者3,800人）し、アニメソングショーやニューススポーツ体験等、会場の広さを活かした参加型のプログラムを多く実施しました。</p> <p>また、大森東福祉園、こども発達センターわかばの家等16の施設では、福祉施設まつりを開催しました（うち2施設は台風等により中止）。</p> <p>障害者福祉強調月間を実施し、パネル展（4か所）・文化展（出品者418人）を開催しました。しょうがい者巡回パネル展では、各障がい者施設の通所者が作成に携わることができる参加型とし、施設紹介や施設のお祭りの様子等をパネルにして展示しました。また、広く区民に周知されるよう、掲示場所を民間施設も含め拡大しました。</p>	6,355,624
施策1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります			
1	生涯学習リーダーの育成	<p>生涯学習リーダー活動につながる内容として、生涯学習情報の収集・発信を中心テーマに、生涯学習人材養成講座を実施（8回、参加者30人）しました。</p> <p>企画会を開催（3講座、計32回、参加者23人）するとともに、企画会参加者（企画員）の企画運営による区民参加型企画運営講座（3講座、計20回、参加者210人）、また生涯学習リーダー（21人）が企画運営を行う、生涯学習リーダー企画講座を開催（3講座、計15回、参加者160人）しました。</p> <p>地域スポーツクラブ指導者養成講習会を開催（1回、参加者14人）したほか、大森、蒲田地区において地域住民が主体となって運営する地域スポーツクラブの設立支援を行いました。</p> <p>青少年リーダー講習会（3講座、計5回、参加者計110人）を開催しました。</p> <p>団体活動ステップアップ講座の立案に向けた企画会を区民参加型で行い（10回、参加者5名）、企画会での立案に基づき講座を実施（4回、参加者17人）しました。</p>	1,810,653
2	生涯学習センターの整備	<p>延べ46人の生涯学習リーダーの参加を得て、生涯学習相談会（6回、来場者1,057人、相談件数134件）を開催しました。</p> <p>また、生涯学習センターの整備に向けては、本庁舎内に生涯学習情報コーナーを設置しました。</p> <p>生涯学習の活動拠点の整備については、場所の確保、区民協働等の関係部局との連携について検討を進めました。</p>	287,806
3	スポーツ施設の整備 （大田区総合体育館の整備）	<p>区民の健康をスポーツで支えるスポーツ教室を開催（3,653教室、参加者延べ33,761人）し、区民の生涯スポーツの拠点として機能しています。</p> <p>10月から室内競技トップリーグのシーズンが開幕し、バレーボールやバスケットボールの試合が定期的で開催されました。</p> <p>また、エアロビクスの世界大会やボクシングの世界タイトルマッチを開催し、多くの集客を得ました。</p> <p>来館者の合計は、232,718人（前年度比18,239人増）に達しました。</p>	148,093,338
4	図書館の改築・改修	<p>入新井図書館において、お話し会（62回、参加者延べ1,758人）やリサイクル市（490冊提供）の開催等、地域ボランティアと連携し、サービスの向上を図りました。</p> <p>六郷図書館の改築について、住民説明会を実施するとともに、実施設計を完了しました。</p> <p>また、改修については現状調査を行い、優先度を考慮して計画的に改修を進め、機能維持を図りました。具体的には、大田図書館の屋上・外壁改修工事、多摩川図書館及び大森南図書館の空調機取替工事を実施しました。</p>	141,399,550
5	馬込文士村資料の活用	<p>借用資料を活用したスポット展示「村岡花子の森時代」を実施し、重点的に村岡花子の紹介を行いました。また、スポット展示後も、展示資料を20点増やすなど、常設展の拡充を図りました。</p> <p>馬込文士村資料（尾崎士郎関連）の整理作業を行い、図書資料を中心に約3,500点を博物館に移動し、保存・管理しました。</p>	590,136

事業名		内容	決算額(円)
施策1-2-5 安定した暮らしと人権を守ります			
1	女性の就労支援(再チャレンジ等)	<p>女性が働く意欲と能力を活かして再就職や起業にチャレンジできるように、再就職セミナー(4回、参加者延べ77人)や、就労応援フェア(1回、参加者34人)、育休ママのための復帰プランセミナー(3回、参加者延べ51人)を開催しました。</p> <p>また、女性のための相談(こころの悩み・働く女性の悩み)を実施(電話相談647件、面接相談285件)し、女性の就労上の問題や就職の悩みに対応しました。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの啓発のため、第一子の乳幼児とその父親向けの講座(3回、参加者延べ53組106人)、幼児とその父親向けの講座(2回、参加者延べ40組80人)、小学生とその父親向けの講座(3回、参加者延べ43組90人)を開催したほか、パネル展を実施しました。</p>	3,018,830
個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります			
施策1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります			
1	高齢者の就労促進・起業支援	<p>シルバーまつり会場内に大田区いきいきしごとステーションのブースを設置し、来場者の相談に応じるとともに、チラシ配布などにより同ステーションのPRを行いました。</p> <p>また、合同就労面接会(参加者112人)、就職面接会(参加者延べ86人)、就労支援セミナー(参加者延べ127人)を開催しました。</p>	24,398,490
2	介護予防の促進	<p>高齢者の介護予防を促進するため、アンケート調査(2,624件回収)を行い、対象となった599人へ二次予防事業を案内しました。また、通所型介護予防教室いきいきシニア塾(運動編6日制、参加者延べ1,792人)とともに総合プログラム(運動編・栄養編・口腔がセットになった予防講座、12日制、参加者延べ2,195人)をスポーツクラブにて実施しました。その他、閉じこもりやうつ、認知症等でいきいきシニア塾に通うことができない方を対象に、訪問型による介護予防の個別指導(延べ98人)を行いました。</p> <p>元気な高齢者向けに、20か所のさわやかサポートで介護予防教室(249回、参加者延べ3,694人)、本門寺公園等4か所の公園で公園体操講座(48回、参加者延べ2,077人)を開催しました。また、認知症予防講座(4回、参加者延べ194人)や認知症予防体操6日制(2回、参加者延べ312人)を実施し、六郷地域力推進センター開所に伴っては、認知症予防体操2日制(2回、参加者延べ178人)を開催しました。</p> <p>指導者育成の一環として、ふくし公園・萩中公園で公園体操指導者育成講座(18回、参加者延べ240人)を開催したほか、介護予防活動サポーター養成講座(1回、参加者延べ30人)、介護予防活動リーダー養成講座(1回、参加者延べ38人)を開催しました。</p>	297,816,599
施策1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます			
1	地域の見守り体制の整備	<p>各さわやかサポートが地域の関係機関と協同で、講座や講演会を開催したほか、区報、ホームページ、デジタルサイネージ等を用いて高齢者の見守りに関する啓発を行いました。</p> <p>高齢者見守りキーホルダーの登録者拡大に向け、自治会・町会の協力による出張登録会や地域のイベントでの臨時登録窓口の開設を行い、20,125人の登録がありました(前年度比5,615人増)。</p> <p>新たに4事業者を高齢者見守り推進事業者に登録し、区と連携した見守りを強化しました。</p>	13,781,443
2	家族介護者への支援	<p>1施設(5床)が、東京都のショートステイ整備費補助制度の補助内示を受けました。</p> <p>家族介護者向けの家族介護者情報誌「ゆうゆう」を発行(4回)しました。</p> <p>認知症サポーター養成講座を実施(34回)し、1,095人が認知症サポーターとなりました。</p> <p>家族介護者支援ホームヘルプサービス事業について、区報や介護保険サービス事業者向けWeb情報提供システム「大田区ケア倶楽部」で周知し、サービスの利用実績は延べ2,977時間でした。</p>	18,343,854

事業名		内容	決算額（円）
3	さわやかサポート（地域包括支援センター）の拡充と福祉ネットワークの強化	区が保有する行政情報をさわやかサポートで参照することができる「行政情報参照システム」を運用し、高齢者の支援に必要な情報を迅速に確認するなど、サービスの向上につなげました。 さわやかサポート職員の相談対応力の向上を目的に、研修を実施（3回、参加者延べ66人）しました。	617,860,003
4	介護保険施設等の整備支援	前年度に工事着工した認知症高齢者グループホーム（グループホームのどか池上、グループホーム大森東あやめ、各3ユニット）、都市型軽費老人ホーム（都市型軽費老人ホームのどか池上、ケアハウス大森東あやめ、ケアハウス・ハート糀谷）が開設しました。 また、1施設が東京都の特別養護老人ホーム整備費補助制度の補助内示を受けました。	256,685,159
5	高齢者総合相談体制の構築	高齢者の相談にいつでも応じることができるよう、区窓口が閉庁している時間帯に高齢者ほっとテレフォンを実施し、相談（件数1,154件）に対応しました。事業については区報（7回）、統合ポスター、ホームページ、デジタルサイネージのほか、見守りキーホルダー登録時の申請書類等を活用し、周知を行いました。	8,722,413
施策1-3-3 いざというときに高齢者を支える体制をつくります			
1	高齢者緊急一時保護・支援体制の整備	緊急支援体制の強化として、区内警察署との連絡会議において、区の高齢福祉サービスの情報提供や認知症高齢者への対応事例等の意見交換を行ったほか、医療機関連絡会にて、医療機関関係者との事例検討を実施し、緊急時の相互連携について意見交換を行いました。 緊急ショートステイについては、区立施設の割合を高めた（区立特別養護老人ホーム3床→4床、民間老人保健施設2床→1床）ことで、路上保護や虐待等の困難事例の増加に臨機応変に対応することができました。	13,846,000
2	高齢者等の権利擁護の推進	成年後見制度について区報や介護保険事業者連絡会等で周知しました。 社会福祉協議会成年後見センターにおいて、成年後見制度の活用に向け、窓口相談（1,396件）、専門相談（44件）、成年後見人養成講座（基礎3回、実務3回、参加者75人）、窓口担当者法律セミナー（4回、参加者67人）を実施しました。また、社会福祉協議会成年後見センター職員を地域学習会等に派遣し（10回）、支援を行いました。 家庭裁判所に対し、成年後見制度に関する区長申立て（25件）を行いました。 社会貢献型後見人の育成及び活用のために、社会福祉協議会成年後見センターの体制整備を進めました。また、本事業で養成した社会貢献型後見人候補者（1人）が、新規に社会貢献型後見人に選任され、後見監督人には、社会福祉協議会成年後見センターが選任されました。 社会福祉協議会成年後見センターでの法人後見の受任件数は26件（法定後見18件、任意後見7件、後見監督1件）となりました。	31,598,805
基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市			
個別目標2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します			
施策2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります			

事業名		内容	決算額（円）
1	蒲田駅周辺のまちづくり	<p>蒲田駅周辺再編プロジェクト素案に対するパブリックコメントを実施したほか、駅周辺交通調整部会の開催（2回）や、関係事業者、地元との意見交換により合意形成を図り、その結果を踏まえて蒲田都市づくり推進会議を開催（4回）し、蒲田駅周辺再編プロジェクトを策定しました。</p> <p>また、蒲田駅周辺再編プロジェクトで初動期整備として示した西口駅前広場整備を具体化するため、西口駅前広場検討部会を開催（1回）し、整備の主旨等の説明と意見交換を行いました。</p> <p>東口駅前広場や地下自転車駐車場は、都市計画変更に向けて関係機関、関係事業者との調整を行っています。</p> <p>駅周辺街区の建替えを促進するための地権者等の支援では、情報提供や意見交換を行うとともに、駅前街区全体会（2回）及び街区部会（3部会、合計5回）を開催し、街区建替えに関する課題の整理や建替え手法、今後の方向性等の検討を行ったほか、駅前再開発や商店街活性化事例の視察を実施し、まちづくりイメージの共有化を図りました。</p> <p>旧逆川は、整備工事が竣工しました（延長210m）。</p>	234,908,160
2	大森駅周辺のまちづくり	<p>グランドデザインのアクションプランに関連する事業の取組状況と成果を確認し、大田区Webサイトで公表しました。</p> <p>地権者組織「大森八景坂地区まちづくり協議会」による検討委員会の開催（11回）を支援し、「大森八景坂地区まちづくりの目標・方向性」がまとめられ、この内容を個々の地権者へ周知・説明するための個別訪問や、まちづくりニュースの発行等による情報提供を支援しました。</p> <p>また、まちづくり計画案の検討を支援し、この計画案に反映するための「都市基盤施設整備計画」について検討・整理を行うとともに、地域住民の声を聞くため、関連する自治会・町会及び商店街を対象に「大森駅西側駅周辺のまちづくり地域懇談会」等を開催（3回）しました。</p> <p>大型複合施設ビルについては、関係部局や事業者による検討組織「Luz大森（大森複合施設ビル）魅力向上部会」を開催（4回）し、問題点の整理や解決を図るとともに、にぎわい指標としてテナントのレジ通過数を設定し、区施設と民間施設の利用者数等を合わせて運営状況を把握しました。</p> <p>また、ビルの信託受益権譲渡に伴い、新たな権利者と条件の確認を行った上で、一部変更契約書及び承継覚書を締結しました。</p> <p>平和島駅周辺地区まちづくり協議会の陳情が区議会定例会において採択されたことを受けて、平和島競艇場護岸管理通路整備の基本計画を策定し、近隣住民との意見交換会を開催（2回）しました。</p>	22,706,635
3	身近な地域の魅力づくり	<p>「人と緑と文化の調和するまち」をめざした大岡山駅周辺地区の整備を進めるため、区画街路第1号線の道路整備設計委託と、鉄道蓋かけ工事委託及び電線共同溝整備工事（延長109m）等を行いました。</p>	2,218,467,320
4	京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり	<p>京急蒲田西口周辺地区については、駅前再開発組合に対する解体及び本体工事の補助金及び負担金の交付や、まちづくり推進団体に対する団体活動費を助成したほか、関係団体の総会、理事会、役員会等の開催や、協議、調整、情報提供などの支援を行いました。</p> <p>糀谷駅周辺地区については、権利変換計画が認可されました。</p> <p>また、駅前再開発組合に対し、補償費、公共施設実施設計等について補助金及び負担金を交付し、解体工事に向けた協議、調整を実施したほか、総会、理事会、関係人説明会等の開催を支援しました。</p> <p>雑色駅周辺地区については、まちづくり推進団体の活動及び広報紙発行等を支援し、団体活動費を助成しました。また、暫定駅前広場整備や、まちづくりガイドライン案に関する検討を支援しました。</p>	5,295,767,714

事業名		内容	決算額（円）
施策2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります			
1	京浜急行線連続立体交差事業の推進	京急蒲田駅総合改善事業が完了しました。 京浜急行線連続立体交差事業は、平成26年3月31日付けで、事業施行期間を平成28年度末までに変更しました。	918,496,070
2	新空港線「蒲蒲線」の整備促進	新空港線「蒲蒲線」整備により影響のある関係自治体に対する協力要請を行いました。また、大田区長と関係6区（港・新宿・品川・目黒・渋谷・豊島）長との連名で、都知事宛てに東京都が主導的な立場で新空港線整備を推進することを求める旨の要望書を提出しました。 新空港線「蒲蒲線」調査に伴う勉強会を開催（1回、区、国、都、鉄道事業者等で構成）しました。 新空港線「蒲蒲線」の早期実現に向け、24年度に引き続いて「新空港線整備資金積立基金」5億円の積立を行いました。 また新空港線「蒲蒲線」整備の意義や効果に関するパンフレット等を作成し、区民や関係者に配布するとともに、区ホームページやデジタルサイネージによる周知を行いました。 「新空港線（蒲蒲線）整備促進区民協議会」を開催し、芝浦工業大学工学部土木工学科教授の岩倉氏にご講演いただきました。	512,110,564
3	都市計画道路の整備	主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、区画街路第1号線については、契約買収（4画地）を行うとともに、区画街路第1号線の道路整備設計委託、鉄道蓋かけ工事委託及び電線共同溝整備工事（延長109m）等を実施しました。 補助44号線については、契約買収（1画地）、土地収用手続（1画地）を行いました。また、道路修正設計委託、電線共同溝整備工事（延長300m）等を実施しました。 補助43号線については、契約買収（11画地）を行うとともに、復元測量、管理舗装（舗装面積431㎡）を実施しました。 補助38号線については、契約買収（1画地）を行うとともに、道路基本設計修正委託、電線共同溝予備設計委託（延長640m）を実施しました。	460,252,859
4	コミュニティバスの導入検討、運行支援	矢口地域におけるコミュニティバス（たまちゃんバス）について、運行事業者へ運行事業補助金の交付、利用促進策の検討、利用案内の作成・配布、イベント出展・各種広報等による積極的なバス利用PR、採算性向上のための車内広告掲示の募集活動などの運行支援を行いました。平成25年度の乗車人員は、約47,000人、1便当たりの平均乗車人員は6.8人でした。 地元関係者等で構成する大田区コミュニティバス等検討会議（1回）、作業部会（7回）を開催し、運行検証結果に基づく利用促進、サービス水準の改善、事業採算性の向上等の課題を検討するとともに、利用者等へのアンケートを実施し、利用実態や要望の確認を行いました。 また、作業部会の中でルート変更を検討し、検討会議での了承を経て、地域要望のあった矢口三丁目へのルート延伸を実現しました。	11,655,532
5	自転車駐車場の整備	御嶽山駅前第一自転車駐車場（収容台数65台）及び御嶽山駅前第二自転車駐車場（収容台数68台）を供用開始しました。 蒲田駅西口御園自転車駐車場の一部及び蒲田駅東口環八横自転車駐車場の機械化と、大岡山駅前地下自転車駐車場の収容台数の増設を行いました（36台増設）。 また、京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場について、整備計画における自転車等駐車対策推進のための作業部会（2回）を開催し検討を行ったほか、関係各課間の調整や、自転車駐車場予定地の現場調査を実施しました。	68,203,622

事業名		内容	決算額（円）
6	京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備	<p>用地取得については、大田区土地開発公社に依頼して先行取得した画地のうち398.01㎡を買戻しました。また、交渉に応じてもらえず取得困難な画地について、土地収用法に基づく土地取得の申請を行いました。</p> <p>街路整備については、弾正橋架替工事（補助328号線）、電線共同溝整備工事（区画街路2・3号線、本線附属街路2号線）のほか、京急蒲田駅東口歩行者専用道1号線の整備を国土交通省関東地方整備局川崎国道事務所へ委託しました。また、街路整備詳細設計委託、電線共同溝詳細設計委託等を行いました。</p> <p>東京都受託事業については、関連側道整備のための詳細設計委託、境界確認調査委託等を行いました。</p>	2,546,593,100
施策2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります			
1	公園の整備	<p>田園調布せせらぎ公園について、グラウンド下散策路の造成工事と、どりの坂擁壁の設計委託を実施しました。</p> <p>佐伯山緑地については、用地を取得しました（612.77㎡）。隣接用地に関する協議確認書を地権者と取り交わしたことから、事業期間を2か年延伸しました。</p> <p>造成工事は契約不調により平成26年度に繰越となりました。</p> <p>（仮称）南雪谷五丁目公園用地を取得しました（370.71㎡）。</p> <p>高畑第三児童公園、古径公園（旧名）南馬込一丁目南児童公園、水神公園（仮称）南雪谷五丁目公園、新井宿第一児童公園の整備工事を実施しました。</p>	514,015,796
2	魅力ある公園のリニューアル	<p>公園のバリアフリー化を推進するため、萩中公園、洗足池公園、平和の森公園、本門寺公園、池上梅園の整備工事を実施しました。</p> <p>また、大森北青空児童公園、田園調布南公園、宝来公園、久が原光児童公園、竹の子児童公園、多摩川二丁目児童公園、高畑第四児童公園の遊具改修を行いました。</p> <p>桜の保全、更新については、洗足池公園で桜の更新工事を行い、桜を3本植樹しました。</p>	165,115,130
3	呑川緑道の整備	<p>都市環境を和らげる風の道として、水と緑の輝きや四季の変化を楽しめる散策路を整備するため、緑道整備工事を実施しました（延長160m）。</p> <p>また、沿川の民間開発を行う事業者に対し、緑道幅員を確保するよう指導及び協力要請を行いました。</p>	23,940,000
4	桜のプロムナードの整備	<p>水と緑のネットワークの充実を図るため、散策路整備工事（310m）及び修正設計委託（370m）を実施しました。</p>	123,429,600
施策2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります			
1	自転車等利用総合対策	<p>自転車等駐車対策協議会を開催（2回）し、報告書を作成しました。</p> <p>池上地区において、自転車走行環境整備を行い（延長約650m）、合わせて自転車走行環境普及基礎調査業務委託を実施して報告書を作成しました。</p>	6,038,273
2	だれでもトイレの整備	<p>誰もが使いやすいトイレの整備を推進するため、高畑第三児童公園便所の新設及び邦西児童公園便所の改修工事を実施しました。</p>	6,835,158
3	橋梁の耐震性の向上	<p>架替工事について、仲之橋は工事が完了し、供用を開始しました。新馬込橋は、新設橋の上部工架設が完了しました。</p> <p>耐震補強について、本村橋の修正設計委託が完了し、計画協議を終えました。</p> <p>天神橋、清水橋、清水橋添架人道橋、宝来橋添架人道橋、北糀谷橋、東橋の落橋防止装置及び補修調査設計委託を実施しました。</p> <p>清水窪歩道橋の耐震補強工事が完了しました。</p>	669,468,167

事業名	内 容		決算額（円）
個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります			
施策2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつくります			
1	にぎわいのある文化交流拠点の整備	「国際戦略総合特区」に加え「国家戦略特区」制度を活用した規制緩和協議を見据え、産業交流施設の整備に向け、関係機関との協議等を行いました。 9月、「国家戦略特区」の創設に向けた国の提案募集に対し、東京都と協議し、空港跡地の構想を盛り込んだ提案を東京都が行いました。	7,727,449
2	世界へ発信する産業支援拠点の整備	羽田空港跡地を含めた空港臨海部の都市づくりのあり方について有識者の意見を聴く政策懇談会と、産業交流施設設計作業部会を開催し、産業交流施設の機能について検討を進めました。 羽田空港跡地基盤整備検討部会を開催し、跡地の基盤整備の検討を行うとともに、第1ゾーンにおける道路、街区、駅前広場等の基盤整備に係る調査を実施しました。	
3	水と緑のふれあいゾーンの整備	また、第1ゾーンにおいて日本の伝統文化や食、農産品等の「クールジャパン」を世界に発信する機能を検討するため、関係団体に対し需要調査を実施しました。	
施策2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります			
1	海辺の散策路整備	東京都港湾局との間で「貴船堀、旧呑川における水門廃止と防潮堤及び海辺の散策路整備に関する基本協定」を締結し、水門による散策ルートの分断を解消するための手法や、都・区の役割分担を定めました。	42,896,700
2	空港臨海部将来構想の検討	空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査を実施（6月～3月）し、状況変化に対応した土地利用の誘導・機能更新に向けて課題の分析やその対策を整理し、重点プロジェクト構想のエリア選定等を行いました。 臨海部3島（昭和島・京浜島・城南島）の工業団体との連携を深め、諸課題についての意見交換等を通じて産業の活性化と魅力あるまちづくりの推進を図るために、臨海部3島連絡協議会を設立しました。	12,021,500
3	交通ネットワークの検討	空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査を実施（6月～3月）し、道路交通実態調査の結果や周辺道路の整備等の状況変化を踏まえ、道路ネットワークの円滑化に資する具体的な施策及び渋滞対策を整理しました。 暫定的な「大田区災害時水上輸送計画」を策定し、整備可能な防災船着場について、検討しました。	
施策2-2-3 国際都市として交流を育みます			
個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します			
施策2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します			
1	工場の立地・操業環境の整備	産業支援施設の評価を実施し、工場アパート（4施設）、創業支援施設（1施設）、産業連携支援施設（2施設）について指定管理者による順調な運営が行われていることを確認しました。 ものづくり工場立地助成については、継続20社（ものづくり工場基盤施設整備助成1件を含む。）に加え、新規に10社の企業に助成を実施しました。また、設備投資助成についても14社に実施しました。 東糀谷六丁目工場アパートにおいて、ものづくり工場立地助成や入居企業の誘致を行い、入居率100%（33ユニット）となりました。	590,826,257
2	新製品・新技術開発の支援	開発ステップアップ助成（上限1,000万円枠：応募10件中3件採択、上限500万円枠：応募20件中3件採択）、実用化製品化助成（上限1,000万円枠：応募6件中2件採択、上限500万円枠：応募26件中9件採択）、開発コラボ助成（上限300万円：応募3件中2件採択）の助成を行いました。 新製品・新技術コンクールについては、応募件数が23件あり、受賞企業は9社で、全ての種類の賞が受賞されました。	78,357,350

事業名		内容	決算額（円）
3	海外市場開拓支援	<p>タイのオオタテクノパーク（OTP）では、入居した4社が操業を開始し、受注実績が当初見込みの3倍になるなど、予想を上回る事業活動を行いました。</p> <p>ITを活用した中国市場展開は15件ありました。</p> <p>欧州市場開拓のため、区内企業が参加する現地視察や展示会への出展等を実施し、スイス・ボー州との協定締結の準備が行われ、ドイツ・ノルトラインヴェストファーレン州産業労働局との連携がスタートしました。</p> <p>また、海外見本市への出展支援を実施しました（タイ・中国・台湾・ドイツ合計5展示会、区内企業33社（初出展27社））。</p> <p>海外取引相談（413件）、中国取引相談（365件）、外国語文書翻訳（57件）を行ったほか、中国市場勉強会（6回）、海外取引セミナー（6回）を開催しました。</p> <p>中国（5回）・タイ（6回）の市場開拓、その他海外市場の調査（5回）を実施しました。</p> <p>諸外国との産業交流(国内)を計41回行いました。</p> <p>台湾の企業40社を迎えて大規模な展示交流会を開催しました。</p> <p>欧米との産業交流を推進するため、セミナーや区内企業との交流会を実施しました。</p>	24,486,302
4	次世代ものづくり人材の育成	<p>小中学生のものづくりへの興味・関心を促すため、ものづくり実践教室（参加者240人）、産業のまちスクール（参加者50人）等を開催しました。</p> <p>また、人材育成のため、技術指導講習会（8講座、参加者延べ127人）、次世代経営者育成セミナー（3回、参加者延べ36人）を開催しました。</p>	21,460,440
施策2-3-2 暮らしを支えるあきないを熱く盛り上げます			
1	商店街景観整備事業	<p>ミハラ商店街へ竣工後の支援として、イベント事業（4回）を支援したほか、イベント内容や組織の法人化などに関する定例会（5回）、中小企業診断士派遣（10回）を実施しました。</p> <p>新たな候補地への支援として、景観整備事業の進め方や補助金申請に関する定期的な勉強会への参加（1回、参加商店会役員10人）及び情報提供（6回）、専門家派遣（8回）を行いました。また、先進事例への視察（会津若松七日町通り商店街）を行いました。</p> <p>そのほか、景観整備事業の3か年スケジュールと、専門家による参道イメージ図の作成を行いました。</p>	216,000
2	ふれあい商店街事業	<p>長原商店街、雑色商店街、矢口渡商店会、日の出銀座商店街、梅屋敷東商店街、大森柳本通り商店街のお休み処について、運営費の一部を助成しました。</p> <p>また、お休み処の利用促進に関する当面の方針を定めました。</p>	6,297,000
3	商店街イベント・機能向上の支援	<p>商店街が実施し、地域住民が参加でき販売促進の効果が期待できるイベント事業に助成を実施（164事業、81商店街）しました。</p> <p>商店街が実施する商店街の環境整備で集客効果が期待できる活性化事業に助成を実施（10事業、10商店街）しました。</p>	153,095,400
4	おおた商い観光展の開催	<p>区の観光資源を全国に発信する「おおた商い観光展」を開催（来場者8,465人、出展者128商店・企業・団体、125小間）しました。区内の商店・企業・団体を中心に「商い・観光・匠」といった区の魅力を来場者に紹介し、おおたの逸品認定表彰式、OTA! いちおしグルメ表彰式、シネパラ蒲田～第1回蒲田映画祭～などを併催しました。</p> <p>また、昨年度に引き続き東日本大震災復興支援を行い、25年度は、宮城県石巻市、岩手県、福島県、茨城県から6社・団体が出展しました。</p>	10,404,396

事業名		内容	決算額（円）
5	サービス業実態調査とマッチング支援	<p>昨年度に引き続き、各種の情報提供や支援策の強化に向けて取り組みました。区報で、区の融資制度を広く周知（4回）したほか、商業版の産業情報誌「あきNOW」を発行（1回、9,000部）し、区内の各商店、飲食店等の各店舗に配布しました。</p> <p>また、あきない・サービス系産業団体等経営革新支援事業として、講習会などに助成（24回）しました。</p> <p>経営改善や新規事業・販路開拓等に取り組む企業等に、専門知識を有する人材を派遣し、問題解決をサポートするビジネスサポートサービスの相談件数は597件でした。</p> <p>また、ビジネスプランコンテストの応募件数は51件で、受賞は11件でした（受賞者：最優秀賞1件、優秀賞1件、奨励賞3件、協賛先特別賞6件、表彰式来場者144人）</p> <p>その他、創業相談に対応（相談件数37件）しました。</p>	13,645,302
施策2-3-3 大田区の観光を世界に発信します			
1	にぎわいを生み出すスポットづくり	<p>「おおた商い観光展」にて、観光スポットの紹介・展示、観光まちづくり団体の紹介、マップやパンフレット配布を行いました。また、近代映画発祥の地である蒲田を中心としたまちおこし事業「シネパラ蒲田」を実施し、旧松竹キネマ蒲田撮影所があったときに撮影された映画の上映会等を行いました（7会場で実施、参加者約4,900人）。</p> <p>区の魅力を再発見していただけるよう、区内の名所をテーマ毎に巡るツアーを実施（6回、参加者延べ1,152人）しました。</p> <p>東京都庁観光コーナーPRブースにて、区の観光関係のパネル展示や、マップを配布しました。</p>	32,933,000
2	ものづくりのまち体験ツアーの実施	<p>商店街や黒湯温泉、羽田空港等既存の観光資源に、新たに町工場や物流・環境等産業施設を加えた、団体向けの「大田区産業観光モニターツアー」を実施（3回、参加者延べ78人）しました。</p> <p>ツアー実施などに向けた来訪者受入れ環境を整備するため、区内製造業者の受入れ事業に対して補助金制度を創設しました（8社に補助）。</p> <p>町工場の雰囲気をもっと身近に感じてもらうため、簡易な体験や講演等ができるような産業観光交流施設「くりらぼ多摩川」を開設しました（上記モニターツアー、子どもを対象としたモノづくり塾の会場（10回、参加者延べ33人）、事業者がトークをする町工BAR（2回、参加者延べ24人）等に利用）。</p> <p>おおたオープンファクトリー2014（下丸子・武蔵新田駅周辺の企業30社が参加）を実施（1回、参加者延べ800人）しました。</p>	15,154,244
3	シティセールスの実施	<p>区の観光の魅力を総合的にPRする多言語パンフレット（発行部数：日本語10,000部、英語5,000部、韓国語・繁体字・簡体字各2,000部）を作成しました。作成に当たっては、来～る大田区大使等との意見交換を行い、海外の方にとってより使いやすいものとなるよう、日本語版と外国語版のデザインを変えるなどの工夫をしました。</p> <p>区ホームページに撮影ロケ等に関わる専用の窓口ページを開設し、区にゆかりがあり、区の知名度を向上させる内容の作品について、番組名やロケ内容等の各種情報を提供する体制を整えました。</p>	20,778,135
基本目標3 地域力と行政の連携が作る人と地球に優しいまち			
個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します			
施策3-1-1 地域力の土台づくりを進めます			
1	NPO・区民活動フォーラムの開催	<p>区民活動団体の活動を広く紹介すること、団体同士を連携・協働させること等を目的に、NPO・区民活動フォーラムを開催（1回、来場者延べ1,700人、参加団体43団体）しました。</p> <p>区民活動団体（13団体）に依頼し、実演形式の説明を伴う活動展示を行いました。</p>	301,259

事業名		内容	決算額（円）
2	区民活動・地域活動を支援する拠点の整備	<p>区民活動コーディネーターの企画による取り組みとして、区民活動団体の紹介や、参加のコツを教える区民活動入門講座（参加者13人）、団体の活動に役立つパワーポイント講座（2回、参加者8人）やリーフレット作成講座（1回、参加者10人）、区民活動情報サイト活用講座（1回、参加者13人）を開催したほか、ボランティア区民活動情報相談コーナーを開設し、情報提供や相談を行いました。</p> <p>区民活動やその連携・協働に関する基本的な知識・技能をもった人材を養成するため、区民活動コーディネーター養成講座を開催しました（10回、参加者延べ348人、講座修了者35人）。</p> <p>地域の特色を活かした地域密着型の活動を支援するため、協力員を特別出張所・地域等に派遣し、事業の運営支援や助言を行いました（洗足区民センター運営協議会における地域に根ざした区民センターとするための助言、羽田特別出張所所管地域でのサマースクール企画運営への助言や当日の運営支援、志茂田小学校スクールサポート活動報告会の企画運営への助言）。</p>	10,511,730
施策3-1-2 地域力を活かした取り組みを進めます			
1	協働推進講師派遣事業	<p>自治会・町会からの要望に基づく派遣（3回）及び区民活動団体の要望に基づく派遣（5回）を実施し、防災、国際交流、環境、災害時要支援者等に関する講演や体験講座等を行いました。</p>	206,630
2	地域力応援基金助成事業	<p>公益性があり、広く社会貢献につながる活動を行う区民活動団体に、活動段階に応じた支援を行いました。</p> <p>スタートアップ助成として、外国人と区民の相互理解、地域防災意識の向上、日本独自の文化を様々な世代に周知する事業など、7事業に新規助成したほか、前年度からの継続事業7事業に助成しました。</p> <p>ステップアップ助成については、ことばの道案内、スポーツを通じた世代間交流等の5事業への平成26年度新規の助成を決定しました。また、25年度実施の新規5事業、24年度からの継続事業8事業に助成しました。</p> <p>ジャンプアップ助成については、提示テーマ「音楽を中心とした日本文化・大田区文化の発信」により、平成26年度実施の新規募集を行いました。審査の結果採択事業はありませんでした。25年度実施の新規2事業、24年度からの継続事業2事業に助成しました。</p>	26,990,462
3	地域活性化事業への支援	<p>自治会・町会が他の区民活動団体等と連携して実施する事業を支援する仕組みとして、地域の防災・防犯を高める事業（34自治会・町会）、コミュニティの形成に役立つ事業（45自治会・町会）、地域の福祉力を高める事業（2自治会・町会）に助成しました。</p> <p>また、使用要綱に基づき、地域での活動団体に特別出張所会議室の貸し出しを行い、地域活動の活性化に有効利用しました。</p>	8,078,460
4	自治会・町会会館の整備助成	<p>自治会・町会活動の充実を図るため、自治会・町会会館の新築（1件）、用地取得（1件）、修繕（3件）に助成しました。</p>	24,455,750
5	わがまち大田推進協議会・地区推進委員会の充実（地域力推進会議・地区委員会の充実）	<p>地域力推進会議（10回）、地域力推進地区委員会（延べ166回）を開催し、地域の課題解決のための情報交換を行いました。</p> <p>地域力推進地区委員会においては、8地区で14の分科会（地域活性化関係4分科会、環境・美化関係3分科会、安全・安心関係7分科会）が設置され、地域の問題解決に取り組みました。</p>	864,727
6	区民活動情報サイトの整備・活用	<p>地域の区民活動に関する有益な情報をインターネットで集約・発信する区民活動情報サイト（愛称 オーちゃんネット）を、区報やホームページで広報し、登録団体数466団体（前年度比40団体増）となりました。</p> <p>地区ごとに情報を提供できるよう、ミックスおおたで地域別（特別出張所別）にデータをプリントアウトし、閲覧できるようにしました。</p>	1,405,690

事業名		内容	決算額(円)
施策3-1-3 誰もが暮らしやすい地域をつくります			
1	多文化共生推進センターの整備	区内の多文化共生の拠点である多文化共生推進センターにおいて、3か国語での外国人向け多言語生活相談(931件)、行政情報の翻訳(307件)、区施設への通訳派遣(89件)、多文化交流事業(セーラム市民との交流会:参加者27人、ドイツハウス:参加者285人、ジャパンデイ:参加者73人)等、多文化共生推進プランの計画事業を着実に実施しました。	14,631,746
2	外国人のための日本語教室の充実	日本語ボランティア養成講座を実施(19回、参加者延べ194人)し、区民ボランティアの育成に努めました。 区内の日本語教室との連携により、学習者の出身国、年齢、性別に合わせた指導員を配置するなど、学習者のニーズに応じた初級日本語講座を実施(全24回、参加者延べ349人)しました。	2,255,200
3	身近な暮らし情報の発信	区報と連携した外国人向け多言語情報紙「おおたシティナビゲーション(Ota City Navigation)」を5か国語(英語、タガログ語、中国語、ハンダ語、日本語)で作成し、8月と1月を除き毎月15日に発行しました。 平成23年に作成したくらしのガイド外国語版を増刷(英語1,000部、中国語1,000部)しました。	3,475,076
施策3-1-4 地域文化の創造とふれあいづくりを進めます			
1	地域文化振興プランの策定・実施	「花子とアン」の放送を機に、大森地域の文化の活性化と賑わいを創出するため、推進委員会を設立・開催(推進委員会3回、企画部会2回)し、地域文化団体やまち歩きの団体との連携・協力体制を確立しました。また、図書館、郷土博物館での展示等を実施しました。 伝統文化団体との情報を共有し、民間施設等での展示・実演の場を提供しました(商い観光展、羽田空港)。 まち歩き団体・観光協会との連携により、ミュージアムマップをまち歩きに活用しました。また、共同事業として、ミュージアムと地域伝統文化の共同展示会を実施しました。	74,555
施策3-1-5 自分たちのまちは自分たちで守ります			
1	防災情報基盤の整備	区報、ホームページ等にアドレスやQRコードを表示し、区民安全・安心メールサービスの広報を行った結果、登録件数は49,284人(前年度比2,234人増)となりました。 緊急地震速報が発せられた際、導入している機器が正常に作動することを確認することにより、運用及び検証を行いました。 18特別出張所へ配備した無線回線FAXの動作検証を行いました。また、固定系防災無線の動作検証を行い、音量調整(5か所)、スピーカーの方向調整(3か所)を実施しました。	3,150,000
2	地域防犯活動の支援	青色パトカーによるパトロールとして、通学路パトロール等(261回)を行いました。 子ども見守り「安全・安心マーク」事業の推進を図るため、18色のプログラムで紹介したほか、のぼり旗を作成し、啓発活動を実施しました。 ホームページ等で子どもSOSの家について周知を行い、協力員登録数は5,617人(前年度比30人増)となりました。 地域全体の防犯活動を強化し、犯罪抑止力を高めるため、防犯パトロール団体(新規7団体、継続30団体)へ助成し、団体数は275団体となりました。	34,002,405
3	災害時相互支援体制の整備	「大田区要配慮者及び避難行動要支援者計画(全体計画)」を策定しました。 災害時要支援者講習会を開催(1回、参加者334人)し、障がい者特有の被害実態や、必要な支援について学習する機会を設けました。 防災コーディネーターを防災講習会(特別出張所2か所、参加者計130名)に派遣しました。	356,693

事業名		内容	決算額(円)
4	地域防災活動の支援	<p>災害時における区民の自主的な活動体制を確立するため、防災市民組織(214団体、前年度比1団体増)へ訓練実施等の防災活動経費を助成するとともに、2,000世帯以上で構成される56団体へ、初期消火用スタンドパイプの追加配備を行いました。市民消防隊(147団体、前年度比1団体増)に対しては、D級ポンプの操法訓練等の消火活動経費を助成しました。</p> <p>起震車、煙体験の派遣(301回)や防災パンフレットの配布を通じた「自助」の重要性の呼びかけ及びスタンドパイプを使用した訓練(34回)等を通じた「共助」意識の啓発を実施しました。</p> <p>消防署と協力し、六郷地区の総合防災訓練において、地域での防災対応型訓練を実施しました。</p>	76,065,281
個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です			
施策3-2-1 地球に優しいまちをつくりま			
1	環境基本条例の制定と環境基本計画の策定	平成24年度の計画に基づく実績を、環境審議会に諮ったうえで「大田区の環境(平成25年12月発行)」として報告しました。	912,704
2	エコライフの普及	<p>エコライフの普及に向けた機器等の購入について、経費の一部を助成(太陽光発電システム380件、太陽熱ソーラーシステム3件)しました。</p> <p>エコライフの普及啓発を図るため、蒲田東口商店街(大蒲田祭)で「おおた打ち水大会」(1回、参加者約300人)、大森東小学校で「エコフェスタワンダーランド」(1回、参加者703人)、消費者生活センターで「太陽光発電セミナー」(1回、参加者17人)を開催しました。また、「環境月間パネル展」と「地球温暖化防止月間パネル展」を区役所本庁舎で行いました。</p>	69,696,873
3	大田区地球温暖化対策地域協議会の運営・行動指針の実践	<p>大田区地球温暖化対策地域協議会の全体会(2回)、部会(5回)を開催し、家庭や事業所における地球温暖化防止に向けた事業について検討・実施しました。</p> <p>家庭部門における夏季の省エネ推進事業として、7~9月に区民を対象とした「省エネチャレンジinおおた」を実施(参加者294人、電力削減量5,508kwh、都市ガス削減量753m³、CO2削減量約4.56t、省エネアイデア応募件数244件)しました。</p> <p>また、「OTAふれあいフェスタ」「エコフェスタワンダーランドin大森東小」への出展、「エコ・クッキング講座」の開催を通じて、省エネや地球温暖化防止についての普及啓発活動を行いました(協力団体:東京工業大学、東京電力(株)、京浜急行電鉄(株)、東京ガス(株)、NPO法人福祉コミュニティ大田、(公社)大森法人会)。</p> <p>集客イベントを環境に配慮して行うための手引きの案を作成し、「エコフェスタワンダーランドin大森東小」において活用を試行しました。</p>	1,376,033
施策3-2-2 水と緑を感じるまちをつくりま			
1	河川水質浄化対策の推進	<p>呑川水質浄化対策研究会を再開・拡充し、東京都や流域自治体と連携して総合的な水質改善対策を検討しました。</p> <p>雨水流出抑制施設整備計画の策定委託を行い、呑川の流域対策を検討しました。</p> <p>呑川中流域の水質検査(12回)と、河川大気中腐食性ガス調査(8地点、各9回)を実施しました。</p> <p>流域対策として、透水性舗装工事(830m²)、道路浸水ます設置工事(25か所)を行いました。</p>	39,108,821
2	グリーンプランおおたの策定・推進(緑の基本計画改定)	<p>大田区緑の基本計画「グリーンプランおおた」を着実に実施するため、グリーンプランおおた推進会議(3回)、庁内推進会議(3回)、区民委員への説明会(1回)、作業部会(4回)を開催し、計画事業の進捗状況の確認や情報共有を行いました。</p> <p>みどりの施策調査を実施し、保護樹木・樹林所有者へのアンケートと現地調査、1m²の緑づくり調査を行いました。</p> <p>平成24年度に実施したアンケート調査の結果を基に、「まちの緑の図」を作成し、ホームページ上での公開や、18特別出張所での掲示を行うとともに、大田区公式ツイッターを利用した周知を図りました。</p>	2,556,015

事業名		内容	決算額(円)
施策3-2-3 ごみのない循環のまちをつくります			
1	ごみ減量・3R推進のPR実施	<p>ごみと資源の正しい出し方等を記載した「清掃だより」を発行(10回)し、地域力推進委員会で配布するとともに、ホームページ上に掲載しました。また、ごみ分別の啓発用ポスターを、区設掲示板に掲示(8回)しました。</p> <p>スケルトン清掃車による啓発として、各清掃事務所・清掃事業所による環境学習を区立小学校19校で実施(参加者1,575人)しました。</p> <p>また、環境学習の対象者を拡大するため、地域に出向いて行う「出前講座」を8自治会・町会で実施し、テーマを決めて区の取組みの周知や、ごみ減量、リサイクルに対する啓発を行いました。</p>	3,618,636
2	資源回収の充実	<p>ごみの排出抑制のため、区報によるPR、パンフレットの配布、リサイクルポスター展の開催等の啓発事業や、小学生を対象とした環境学習を実施(19校、参加人数1,575人)しました。</p> <p>一般廃棄物処理基本計画推進検討会を開催(4回)し、資源モデル回収事業の実施手法等について検討しました。</p> <p>検討の内容を踏まえ、平成25年10月から使用済小型電子機器リサイクル事業を開始しました(回収量495トン)。また、この事業の一環として、粗大ごみの中から小型家電や有用金属を含む物を選別・回収するピックアップ事業を前年度に引き続き実施しました(回収量494トン)。</p>	38,219,173
個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます			
施策3-3-1 行政力を最大限に発揮できる体制をつくります			
1	調査研究・企画機能の拡充	<p>「大田区における政策法務マインド向上、スキル習得の方向性」について調査研究を行い、報告書を作成しました。また、人事課との連携により、区政課題研究講座「地域力向上戦略」を実施(全8回、参加者16人)しました。</p> <p>4月に東邦大学と「連携・協力に関する基本協定」を締結し、人材育成における連携・協力について意見交換を行いました。</p> <p>行政評価の実施に向け、行政評価手法の構築・導入に係る調査を実施しました。</p>	1,735,014
2	行政情報基盤の整備	<p>LGWAN接続機器のリプレースにより、庁内LANとの接続が実現し、戸籍謄本のバックアップなどインフラ環境を整備しました。</p> <p>統合型GISに一部の業務で管理していた台帳データを、電子地図データとして組み込むことにより、事務の効率化を図りました。また、スタンドアロンで稼動しているシステムを統合型GISに取り込み、管理費用や運用コストの低減化を実現しました。</p>	1,367,048,372
施策3-3-2 透明性の高い区役所をつくります			
1	区民の新たな区政参画制度の導入	<p>第2期区政サポーター活動開始に当たり、区政サポーター会議(1回、参加者71人)を開催し、制度の趣旨と活動内容の説明を行いました。</p> <p>区政サポーターに対して、区政課題に関するアンケート調査(3回)への協力のほか、講演会(1回、参加者34人)、公開座談会(1回、参加者23人)への参加を依頼しました。</p> <p>年間の区政サポーター活動報告書を作成しました。</p> <p>区政サポーターによる区民提案制度の試行と、アンケート調査を行い、制度案や庁内の事務の流れについて検証しました。</p>	1,404,085
施策3-3-3 地域力を支える区役所をつくります			